

『新中央公民館基本計画(素案)』についての御意見について

1. 意見の募集期間 平成24年8月3日(金)から17日(金)まで

2. 提出件数

	意見数	提出者数
提出された意見	21件	8名

3. 提出方法

FAX送信	5名
メール送信	2名
窓口提出(図書館・公民館)	1名

4. 寄せられた御意見と本市の考え

項目	御意見の概要	宮古島市の考え	
第1章 基本構想	公民館というイメージを打破する、暖かい、立ち寄りたくなる建物と空間を作ってほしい。	すべての市民が気軽に、楽しく、学べ、癒され、育てあい、集える施設を目指します	
第2章 基本計画	3. 新しい公民館の室構成(スペース)	プラネタリウムは学習の場だけではなく、大人の癒しの空間として活用できるようにしてほしい。宮古島市は、平良から離れるとプラネタリウムを超える空もある。	最近ではプラネタリウムのプログラムも、星空を投射するだけでなく多分野に広がり、また独自のプログラムを作成する所も増えているようです。新しい中央公民館のプラネタリウムも”星”のみならず、海に囲まれた島しよ性や亜熱帯性など沖縄・宮古島の地理的特性と、その中で豊かに育まれた歴史や文化と天体との関わりについて学べる子どもから大人まで楽しめる空間となるように考えていきます。
	4. 施設の特記事項	プラネタリウムは初期の設備投資以外に、メンテナンスや人件費など多額の費用がかかります。人口の多い大都市であれば、星空を見る機会が少ないでしょうが、宮古島の環境や人口規模からも、一人の納税者として納得しづらい感覚があります。ワークショップで出た一要望を編実にするには、まだまだ議論の余地があります。常設ではなく、移動式プラネタリウムを招聘すれば十分に学校教育を補完できます。また今回の議論を深めるために、今秋～来春あたりに招聘することを提案します。	また、プラネタリウムの星空の下での読み聞かせ、ミニコンサートなどを開催し、市民に親しまれる癒しの場としての役割も期待されます。 日本には360のプラネタリウム施設があり、そのうちの74%が市町村主体で設置されています。(プラネタリウムデータブック2010より。)全国でも星空の美しい場所として知られている地域でも、プラネタリウムが作られ、様々な学習活動に利用されているようです。
	4. 施設の特記事項	<p>青少年支援センターは、不登校などの子どもたちも受け入れるのであれば、入口を2つ設け、人目を気にせず入れるようにするとよいと思う。</p> <p>子育て支援広場は、土日も含めた企画・イベント、空間の提供が望まれる。地元キャラクターのみーやを活用するなど、遊び心のある空間をつくってほしい。</p>	<p>避難経路を確保するためにも、出入り口は2か所以上設けるようにします。</p> <p>子育て支援については、ワークショップの際に様々な年代の方から要望がありました。子育て世代が気軽に公民館や図書館を利用でき、子どもたちに親しんでもらえるようなスペース作りを考えていきます。</p>

項 目		御意見の概要	宮古島市の考え
	4. 施設の特記事項	障がい者用トイレを増やしてほしい。	障がい者の方々の動線や公民館の利用方法に配慮しながら、トイレの場所や数を検討します。
	主な設備・備品	いろいろなものを展示しやすいように、天井部分に、高さが変えられる可動式フックや、壁にパネルや簡易台、フックがはめられるような凹凸を作ってはどうか。	様々な展示方法に対応でき、多くの市民の皆さんに気軽に利用してもらえるように、先進館の設備も参考に考えていきます。
	6. 防災機能・設備	寝たきりの高齢者や障がい者の災害避難時に備え、最低医療機器(呼吸器や吸引器等)を設置してほしい。	災害時の高齢者や障がい者の避難所として、必要な設備、備品について関係部署と話し合っております。
		緊急避難時の障がい者のため、簡易ベッドを設置してほしい。	
		障がい者の緊急避難に対応できる設備を整えてほしい。	
		2階、3階までスロープ等を設置し、津波災害時の避難所としての機能を考えるべきである。	災害時の避難所として、スロープを含めた様々な避難経路を検討していく考えです。
	(駐車場)	高齢者や障がい者も使用することを考えると、一台の入るスペースを広めにとることも重要である。(リフトやスロープ付き車なども使いやすく)	沖縄県福祉のまちづくり条例に基づき、一般の駐車場とは別に、入口近くに高齢者・障がい者用の駐車スペースを設けます。また一台あたりのスペースも障がい者用車両の利用や車イスの移動を考慮し、広めに設定します。

項 目		御意見の概要	宮古島市の考え
	8. アプローチ、植栽、バス停	フリーマーケットのスペースはとても良い。市民が公民館の場所を知るきっかけにもなる。	フリーマーケットのスペースは、ワークショップの際に高校生のグループから出された意見です。とても良いアイデアだと思い、基本計画の中に取り入れました。
	その他スペース	館外に、車イスやシニアカーの方たちが気軽に集え、利用しやすいスペースを設けてほしい。	敷地内に、各スペースや施設に移動しやすいように、スロープを設けます。
第3章 新しい公民館の事業計画と運営	1. 公民館の事業計画と運営	車イス試乗体験(健常者向け)	公民館の事業を具体的に計画していく中で、検討していきます。
		障がい者の自立生活体験	
		宮古島の昔ながらの食材を利用した料理教室	
	宮古馬、牛、ヤギなどを飼育し、動物の出産シーン体験	市民の皆さんが集まりやすい場所、市街地での建設を予定しているため、家畜動物の飼育は、悪臭の問題や排水処理の規制等で困難と思われます。	
その他		建築計画策定の段階から、障がい者の意見も取り入れてほしい。委員会に入れてほしい。(3件)	この素案は、アンケートやワークショップ開催をホームページ等で呼びかけ、一般市民の方々からの様々な意見を取り入れ作成いたしました。これからも障がい者の方を含め、利用者となる幅広い市民の方のご意見を伺う機会を設ける予定としています。ご協力よろしくお願いします。